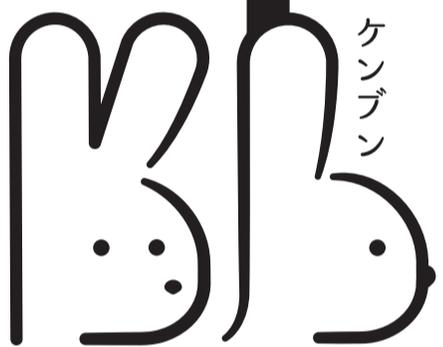


# KENBUN JOURNAL

新しいケンブン



ケンブン

New Culture, New Experience

愛媛県県民文化会館

LIVE

2025.7.15<sup>土</sup>

## 劇団四季

COVER

ミュージカル『赤毛のアン』



撮影 / 阿部章仁

### KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

愛媛県県民文化会館、略して「ケンブン」から  
ケンブンを楽しくするための情報をお届け！

vol.007  
2025



アンケートにご協力ください

ケンブンジャーナル編集部 kenbun\_journal@ecf.or.jp



よりよい紙面づくりを目指するため、左記の2次元コードから、ご意見・ご感想をお寄せください。  
【個人情報は集客層の調査のために使用します。また、お寄せいただいたご意見は愛媛県県民文化会館のホームページや  
刊行物などに匿名で掲載させていただくことがあります。ご本人の承諾のない限り、前述の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。】

Issue

えひめ文化振興コンソーシアム

T:90-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL 089-923-5111  
<https://www.kenbun.jp/>

TAKE FREE



ARTIST

INTERVIEW

「身近にある愛や  
幸せに気付く  
きっかけになればたら」

ダイアナ・バリー役

小島絵里衣

(1)

EHIME CULTURE

広報・たぬ子の

ゆかりアーティスト  
interview

KENBUN COLUMN

ケンブンケンガク

エヒメ文化を語る

ケンブン人のお仕事

県文と私

ケンブン周辺見学



撮影/阿部章仁

FEATURE

身近にある愛や幸せに気付く  
きっかけになれば

劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』  
ダイアナ・バリー役 小島絵里衣

PROFILE 神奈川県出身。4歳からクラシックバレエを習う。小学生の頃『キャッツ』で舞台に興味を持ち、高校時代に観た『アラジン』をきっかけに劇団四季を志す。2017年研究所入所。2018年『キャッツ』で初舞台。

アーティスト  
インタビュー

Q.1

ミュージカル『赤毛のアン』では、アンの親友ダイアナ・バリー役を演じられます。キャラクターやアンとの関係について教えてください。

ダイアナはとても心優しく、おっとりとした性格のお嬢様でありつつも、アンとはまた少し違って個性的な可愛らしい子です。豊かな想像力から飛び出すアンのおしゃべりが大好き。いつしか親友よりも大事な“腹心の友”になるほど、アンの一番の理解者だと考えています。

Q.2

演じる上で心がけたこと、ダイアナに共感する部分はありますか？

ダイアナは子どもなので、感情をはっきりと素直に表現するよう心がけています。また、台本にも「くすくす笑う」とよく書かれているほどたくさん笑う子なので、可愛らしい笑い方も研究しています。思っていることを素直に言葉にできるダイアナは、私にとって共感より憧れのほうが強いですね。

Q.3

『赤毛のアン』は時代を超えて愛されています。作品を通して伝えたい思いはありますか？

この作品は派手な演出があるわけではありませんが、アンたちに起こる些細な出来事がドラマチックに大事件へと発展していく様子がすごく魅力的だと思います。どんなことにも一生懸命に生きる個性豊かなキャラクターたちのように、観ている方も身近にある愛や幸せをたくさん見つけていただけたら嬉しいです。

Q.4

公演で特に注目してほしいポイントは？

ストーリーはもちろんですが、ミュージカルならではの歌にも注目してもらいたいです。アンとダイアナで歌う「腹心の友」は、思わず口ずさみたくなるあたたかなメロディーでお客様の心にも残るはず。またアンが初めてアイスクリームを食べるときにみんなで歌う「アイスクリーム」は、ワクワクとドキドキが混ざった

キラキラとした曲。聴いたあとはアイスクリームを食べたくなってしまいますことでしょう！

Q.4

愛媛の印象はいかがですか？

愛媛県には以前にも全国ツアー公演で伺ったことがあり、晴れやかな青空と鮮やかな木々の緑がとても綺麗な土地だなと感じました。鯛めしもとてもおいしく、また愛媛に行きたいと思っていたんです。今回はおいしいみかんジュースを飲みたいです！

Q.5

最後に公演への意気込み、読者の方へのメッセージをお願いします。

まさに全国公演中ですが、さまざまな土地で舞台をお届けできることに喜びを感じています。どんな土地でもお客さまはあたたかく、喜んでくれているのが客席からの笑い声や拍手から感じられ、すごく幸せなことだと日々感謝でいっぱい。愛媛の地でも、自由奔放に輝くダイアナを皆さまにお楽しみいただけたらと思います。劇場でお待ちしております。

INFORMATION



劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』  
7月15日(火) 18:30～(開場17:45)  
@メインホール

時代を超えて愛される『赤毛のアン』を原作とした劇団四季のミュージカルが、13年ぶりに愛媛にやってくる！前向きに生きるアンと仲間たちの物語が、観る人すべての心をあたたかく彩るはず。

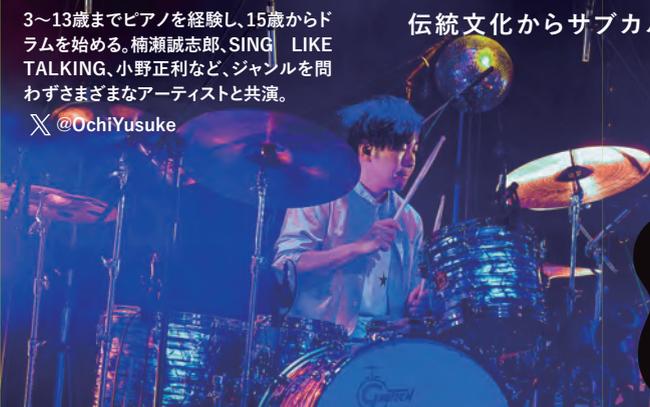
問/0570-008-110(劇団四季 ナビダイヤル)  
料/S席10,000円、A席8,000円、B席5,000円  
※売り切れの場合あり

HOME CULTURE

ARTIST ドラマー 越智祐介さん

3～13歳までピアノを経験し、15歳からドラムを始める。楠瀬誠志郎、SING LIKE TALKING、小野正利など、ジャンルを問わずさまざまなアーティストと共演。

@OchiYusuke



伝統文化からサブカルチャーまで愛媛にゆかりのあるアーティストに広報のため子がインタビュー

聞くブン！  
見るケン、  
ため子が

ゆかりアーティスト  
interview

vol.7

もっと読みたい方は  
こちら▶



愛媛の芸術・文化 広報・ため子

主役ではない楽器の役割とは

3歳からピアノを習っていた越智祐介さん。中学生のときに組んだバンドでは、当然のようにキーボードを任せられたが、練習を重ねるうちにドラムが与える影響力の大きさに惹かれ、高校からはドラムへ転向した。楽器全般に「演奏には人柄が出る」と言われるなか、ドラムは奏者の人柄しか出ないのだとか。そんな奏者によって音が変わり、曲への影響力が大きい楽器だからこそ、彼は自身が目立つことよりも、バンド全体がどう聴こえるのかということに重きを置き演奏している。最近では、楽曲制作や編曲に挑戦しており、「縁あって出会った愛媛ゆかりのアーティストと愛媛にまつわる曲を制作し、愛媛で演奏できたらおもしろいな」と、今後の活動について話してくれた。

「作品に意味をもたせたい」と、自作の帆布バッグに自身で考えた物語の一部を描いている平岡典子さん。バッグを手にとった方が物語の続きを想像し、購入後に付いた汚れも物語に取り入れることで、作品が完成すると考えている。そのため、未来に出会う誰かのために制作し、見つけてもらえた瞬間に「持ち主に帰った」と思うのだそう。10年間続けている絵日記は、今や彼女のライフワークとなっており、絵日記に記した日常のエッセンスが、作品づくりへ影響を与えている。今後は、自分が自由に好きなことを楽しむことで、年齢にとらわれず自由に行動してもいいと周囲に伝え、チャレンジする人の背中を「やったらいいやん!と押せるおばさんでありたい」と話す。

私にしかできない  
「おもしろいじゃん!」の  
ものづくり

ARTIST デザイン・描画・縫製 平岡典子さん

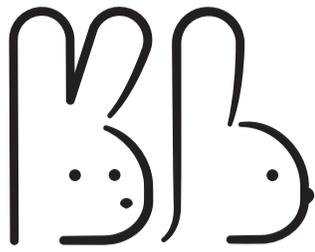
2012年からイベント出店を開始。イベント出店以外にも、個展、ワークショップなども行う。近年、ZINEの制作に取り組み、本に関連する出店も行っている。

@ha.ri.no.ki





# KENBUN SCHEDULE



ケンブン

## 2025.6-8

※本文中のデータは2025年5月10日現在のものです。チケットが売り切れの場合があります。また予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。

- M メインホール
- S サブホール
- 真 真珠の間
- 県 県民プラザほか



### S 文化勲章受勲・人間国宝 桂米朝生誕百周年記念 「桂米朝一門会」

7月13日(日) 13:30~(開場12:45)



- |   |   |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

- 1\_桂南光
- 2\_桂米團治
- 3\_桂米左
- 4\_ゲスト/立川談春

文化勲章に輝いた人間国宝 故桂米朝の生誕百周年を記念しての落語会。一門はもとよりゲストに立川談春を迎えて華やかに行われる。在りし日の桂米朝の落語(ビデオ録画)をスクリーンで楽しみ、また一門の座談会では、米朝の素顔やエピソードを交えトークを展開。どんなエピソードが出てくるか...ここでしか聞けない裏話をぜひライブで!

問/089-915-3838(南海放送) ¥/全席指定5,000円(当日は+500円)  
※未就学児の入場は不可

### 真 全世代対象 合同説明会 オープン・カンパニー in Ehime

6月8日(日)12:30~17:30(開場12:15)

愛媛の優良企業40社が集結。愛媛で働きたい学生(全学年対象)と企業をつなぐ合同説明会で、就活の始め方やインターンシップ心構えのセミナーも。就活座談会コーナーは整理券が必要。

問/089-931-6007(株式会社 エス・ビー・シー)  
¥/入場無料

### M 第52回愛媛交響楽団サマーコンサート

6月15日(日)14:30~(開場14:00)

指揮者に大谷麻由美氏を迎えてのサマーコンサート。デュカス「ラ・ペリのファンファーレ」をはじめ、壮大な音楽が繰り広げられる。

問/愛媛交響楽団HPの問い合わせフォームから ¥/指定席2,000円、一般1,500円、小中高生700円(当日は+200円、小中高生は800円)  
※未就学児の入場は不可

### S 松山市民劇場 第364回例会 Pカンパニー公演「5月35日」

7月8日(火)18:30~(開場18:00)

1989年の天安門事件を背景に、その30年後を舞台として描く。演出は松本祐子が手がけ、出演者には竹下景子、林次樹をはじめとする実力俳優たちが登場。

問/089-943-2460(松山市民劇場)  
¥/会員制(新入会は一般5,500円、当日入会可)

### M 長渕剛 TSUYOSHI NAGABUCHI HALL TOUR 2025 "HOPE"

7月12日(土)17:30~(開場16:30)

昨年5月、7年ぶりのアルバム「BLOOD」を携えたアリーナツアーにて全国のファンを歓喜させてから、早くも今年の全国ツアーを開催!“希望”が灯り、想いを楽曲に込めて届けてくれる。

問/089-947-3535(デューク松山) ¥/全席指定13,000円  
※チケットは好評につき完売いたしました



### S ハラミちゃん全国ピアノツアー2025 ~あなたの街に名曲お届けするね!~

7月19日(土)16:00~(開場15:00)

大人気ポップスピアニスト・ハラミちゃん、2年ぶりの愛媛公演!名曲配達人となって名曲をお届け。「あなたの名曲大募集」企画も。



問/089-947-3535(デューク松山) ¥/全席指定一般ハラミ定食券7,300円/子ども学生割引6,300円、特上ハラミ定食券9,800円、極上ハラミ定食券29,000円 ※3歳以上有料/3歳未満は膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)

### 真 マイナビ就職セミナー 松山会場

8月2日(土)13:00~17:00(開場12:00)

愛媛県にゆかりのある企業が多数出展する合同企業説明会。企業ブースのほか就活に役立つスクールやコーナーもあるので、選考で活かせる情報を一気に収集できるチャンス。HPより要予約。

問/shikoku-event@mynavi.jp(株式会社マイナビ)  
¥/入場無料

### S みあきバレエ・ポリショイバレエ団 国際交流「2025年みあきバレエ研究学園発表会」

8月17日(日)13:00~(開場12:30)

2歳から大人までの発表会に加えて、ポリショイバレエ団のトップスターが賛助出演する。ミハイル・クリュチュコフ振付演出の「白鳥の湖」の王子・ロットバルトは必見。

問/info@miakiballet.jp(みあきバレエ研究学園後援会)  
¥/入場無料



左:ミハイル・クリュチュコフ

### 県 KENBUN MORNING MARKET

[vol.6]6月28日(土)10:00~13:00

[vol.7]7月5日(土)10:00~13:00

[ケンブン夜市(ナイトマーケット)]8月11日(月・祝)16:00~

毎回テーマを変えて行う朝市。食や雑貨、古物や珈琲など、こだわりの店舗が出店。

問/089-945-1139(株式会社 エス・ビー・シー)  
¥/入場無料



### 「EHIME x CULTURE」マルシェ 出店者募集

雑貨や家具インテリア、アクセサリ、絵画、工芸品など、さまざまなオリジナル作品が集まるクリエイターの文化祭。自ら手づくりしたものを販売する出店者を募集。ブースサイズは2m x 2m(一部2.5m x 2m)、ブースによってはワークショップの開催も可能。

【開催日】10月13日(月・祝)11:00~16:00 問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団 総務事業部「EHIME x CULTURE」出店申込み担当者) ¥/1ブース3,500円~ 応募/マルシェ申込書持または申込フォームより、6月11日(水) 必着(窓口受付は17:00まで)



LOOK FOR イベント募集のお知らせ

LOOK FOR チケット販売のお知らせ



### ファミリーコンサート「おんがく de あそぼ 15」

6月5日(木)10時から受付開始

0歳から参加できるファミリーコンサート。「音をたのしむ」をコンセプトに、手遊びうたや子どもに人気の曲を中心に演奏。子どもが泣いたり動きまわったりしてもOK。

【公演日】7月5日(土)①10:30~(開場10:00)、②14:00~(開場13:30)、7月6日(日)10:30~(開場10:00)@サブホール 問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団) ¥/19歳以上1,500円、子ども無料(全席自由席)※財団HPより事前申し込み。当日受付で支払い ※子どものみの入場は不可



## KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

2025 vol.007

企画・発行: えひめ文化振興コンソーシアム

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL 089-923-5111  
<https://www.kenbun.jp/>



ケンブンジャーナル編集部: 愛媛県民文化会館内 企画・編集: 藤崎純子・河内春香・植松都香・河野英一郎(以上えひめ文化振興コンソーシアム)、松下亮介・和氣敬憲・高須美登里・池川ゆかり・橋妙 デザイン: 林真央・土居麻巴香・西田衣織(以上エス・ビー・シー) 印刷: セキ株式会社 2025年5月24日発行/※掲載データにつきましては、2025年5月10日現在のものです。情報の内容は変更される場合があります。本紙記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます。

Next Issue

2025年7月発行